

# 子育て中のパパママをサポート！レディヤンかすがい親子ひろば

春日井市男女共同参画情報紙

女性のつながりサポート事業「レディヤンかすがい親子ひろば」を開催しています！この事業は、子育て中のパパ、ママの居場所をつくることで様々な悩みや困難を抱える人のサポートを目的とし、月1回、季節に合わせて子ども向けのいろいろな行事を行っています。お子さんと一緒に遊べる場所だけではありません。日々抱える悩みや不安を話してみませんか？



コロナ禍で人とのつながりが減ってなんとなく不安…  
子どもが安全に遊べる場所が欲しい。  
子育てとか、家のこととか、仕事との両立とか、不安を誰かに話したい！

## 「親子ひろばってどんなところ？ 親子ひろばのスタッフさんにインタビューしました！」



親子ひろばは、家ではなかなか出来ない親子で楽しむ遊びや歌と一緒に楽しんでいます。

感染症の拡大で、祖父母や親戚など人と会うことが難しくなり、夫婦だけで子育てをしている家庭も多いように感じています。

春日井市では『子はかすがい、子育てはかすがい』をうたい、市内各地に子育て支援施設や児童館があります。こういった施設に出かけることで同年代のパパやママ、施設のスタッフたちと出会い、話することでみんなで子育てをしましょう。

スタッフも参加者も「今日は参加して良かったな」「楽しい時間だった」と思えるような居場所づくりを心掛けています。私たちは、このボランティア活動でたくさんの親子の笑顔に出会えて元気をもらっています。気軽に遊びきてください。

### ボランティア大募集！

親子ひろばと一緒に活動してくれる人を大募集しています！

資格、免許は不要です！子どもが好きな方、ボランティアをしてみたい方、少しでも興味がある方はぜひ！まずは、お問い合わせください。

問い合わせ先：男女共同参画課 ☎0568-85-4401

3月7日にグルッポふじとうで子育て支援『あそび』の講座を開催します！  
講師はグルッポふじとう児童館職員です。ボランティアはしてみたいけど歌や踊りに自信がない、最近のお歌遊びを知りたい…等々、どんな方でも参加できます！興味のある方は問い合わせ先に申込をしてください！

問い合わせ先：グルッポふじとう児童館 ☎0568-37-4296



詳細は  
ホームページへ！

【時間】13:30～15:00  
【内容】体操、あそびうた、  
てあそび、簡単な創作等  
【申込】電話、  
または児童館で直接

### 相談窓口のご案内

女性の悩み相談（電話・面接 ※面接は原則予約制です） 火～金曜日（祝日、年末年始は休み） 13:00～16:30	☎0568-85-7871
女性のための法律相談（面接のみ・予約制） 指定土曜日 10:00～12:00 予約電話受付は9:00～17:00	☎0568-85-4401
愛知県女性相談センター（女性悩みごと電話相談） 月～金曜日 9:00～21:00、 土・日曜日 9:00～16:00（祝日、年末年始は休み）	☎052-962-2527

女性のための法律相談の実施日はホームページで確認してください。



### お知らせ

令和6年4月1日より  
男女共同参画課は多様性社会推進課に名称が  
変わります。4月以降  
もレディヤンかすがい  
にありますので、これからもよろしくお願い  
します！

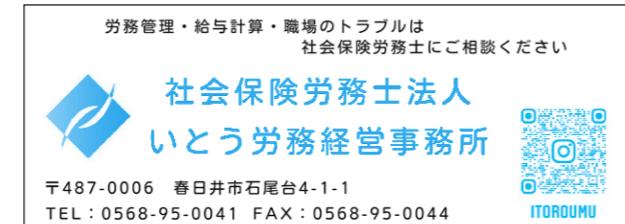


春日井市男女共同参画情報紙『はるか』vol.55  
2024年3月発行

企画・編集・発行 春日井市市民生活部男女共同参画課  
〒486-0844 春日井市鳥居松町2-247  
TEL: 0568-85-4401 FAX: 0568-85-7890  
Eメール: danjo@city.kasugai.lg.jp  
(4月以降は tayosei@city.kasugai.lg.jp)



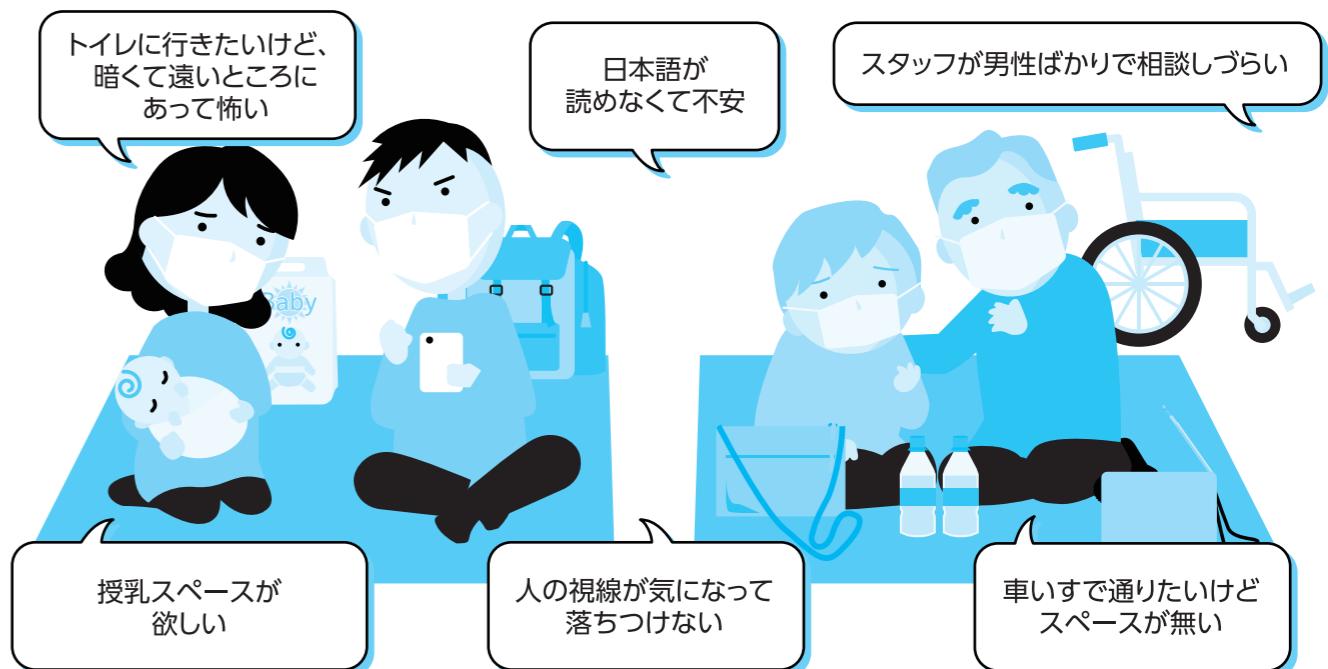
ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、  
より多くの人に見やすく読みまちがえにくく  
デザインの文字を採用しています。



VOL.55  
2024.3

## ◆特集◆ ジェンダー、多様性の視点からの防災

### 避難所の様子、どんな声が聞こえてくるでしょうか？



今、災害が起きたら、皆さんは自分や家族の身を守れますか。  
そのための準備はできていますか。



近年の災害から、年齢・性別・障がいの有無・国籍によるニーズの違いや多様な生活者の視点に配慮した防災、地域住民の自助・共助の取組の重要性が指摘されています。

今回は被災時、皆さん一人ひとりの人権が守られ安心して生活できるよう、平常時から持つておきたい多様な視点の防災について一緒に考えましょう。

### 《特集》ジェンダー、多様性の視点からの防災

☆日頃から災害に備えよう。

☆春日井市在住の防災士に必要なコト、聞いてみました！

☆パートナーシップ・ファミリーシップ制度愛知県内自治体間連携はじめました！

☆子育て中のパパママをサポート！レディヤンかすがい親子ひろば

### 目次

# 日頃から災害に備えよう。

防災は、自分の身は自分で守る（自助）が基本です。災害は避けることが非常に困難です。被害を最小限にする減災への取組として、日頃から、個人や家庭で備えることが重要になります。

また、災害時は地域や身近にいる人同士で助け合うこと（共助）が欠かせません。日頃から地域の一員として防災訓練や学習会などの地域活動に積極的に参加し、交流を図ることが災害時に大きな力になります。年齢や性別、障がい、国籍問わず、皆さんで地域を守りましょう。

## ●個人や家庭のニーズに応じて備蓄を工夫しましょう●

- 「避難するときに最初に持ち出す非常持ち出し品（最低3日分）」と「自宅で避難生活するときの非常備蓄品」に分けて備えましょう。
- 食物アレルギー等がある場合は、個人での備蓄以外にも、災害時どこで入手可能か確認しておきましょう。
- 地域で備蓄する場合は、女性や妊産婦、乳幼児のいる家庭、高齢者など地域の多様な生活者の意見を反映させて品目を選定しましょう。



## ●セットで備蓄しておきたいもの（一例）●

### 【女性・妊産婦用品（例）】

- 生理用品
- サニタリーショーツ
- 清浄綿
- おりものシート
- 下着類
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー・ホイッスル



### 【授乳用品のセット（例）】

- 粉ミルク・液体ミルク
- アレルギー対応ミルク
- 乳幼児用飲料水
- プラスチック製のほ乳瓶
- ほ乳瓶用の消毒剤
- 紙コップ
- 湯沸かし器具  
(乾電池式か発電式)

### 【高齢者のいる家庭（例）】

- やわらかい食べ物
- 持病の薬
- 補聴器
- 入歯
- 予備のメガネ
- 大人用おむつ
- 尿取りパッド



発生直後は、避難所で生理用品や粉ミルク、おむつ等女性や子育て家庭、高齢者などの生活用品が不足するため、個人で備蓄しておきましょう。

## ◆◆◆◆◆ 避難訓練や学習会に参加しよう！ ◆◆◆◆◆

### 参加すると…

顔の見える関係が築けるため、不審者や負傷者の発見がしやすくなり、お互いに助け合いながら、安全に避難することができます。



## 春日井市在住の防災士に必要なコト、聞いてみました！

春日井市で防災の講座やイベントを行い、防災の啓発活動を進める防災士の石井直子さん。今後、災害が起こったときのために、私たちに必要な防災の知識と心づもりを教えてもらいました。



防災士  
石井 直子 さん

防災訓練等には男女問わず参加をして欲しいと思っています。その理由は、普段の生活状況によって持っている視点や気になる視点が違い、訓練の中で感じる問題点や改善点も男女で違う気づきがあるので、それを共有することで、より意義のあるものになるからです。性別、年齢によって役割を決めなくともいいと思いますが、避難者それぞれのニーズに合わせて、声を上げやすい環境を作ることが大切です。最近は、災害ボランティアや防災講座の参加者に女性の姿も増えてきています。特に、子育て中は、もし、災害が起きたときに自分の命だけでなく、子どもの命も守らなくてはという思いがあるため、意識は年々向上していると感じます。ただ、町内会（自主防災組織等）への加入や自治会や町内会の防災訓練となると、積極的な参加をためらっている方も多いいらっしゃいます。避難所生活になった時、色々な立場の方々が声を上げやすくなるように、老若男女問わず参加する方が増えることを願っています。

続いて、防災において持っておきたい視点があります。それは「自分の価値観は絶対ではない」ということです。多様な人々がいて価値観やニーズは異なります。自分の指標で動きすぎないよう、頭を柔軟にしておきたいものです。また、この視点は防災においてだけではありません。今の生活でも必要な視点です。日常的に持つことによって、いざという時に発揮できると思います。

最後に、今、私たちがすることは、「つながりづくり」です。実際に避難所の復興支援に行つた方のお話を聞くと皆さん「普段からつながりがあるところは復興が早い」と言います。私は町内会やPTA、子ども会等に参加していますが、現在、運営に課題が多い状況だと感じています。つながりがあることの良いところは、普段から顔を知っているので、いざというときに助け合いができたり、困りごとへの声があげやすかったり、行事の運営の連携がスムーズだったりします。今はデジタル機器が発達して、SNS等のコミュニティがあり、遠くの人とも簡単に繋がることができますが、災害時、デジタル機器が使えなくなってしまったら、助けを求めるができるのは近隣や地域の人々です。災害時だからではなく、日常的につながりを持ち、多様な価値観、視点を持つことが大切だと思います。

## パートナーシップ・ファミリーシップ制度 愛知県内自治体間連携はじめました！



令和4年5月1日から開始した、性的マイノリティのお二人とそのお子様のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度において、令和5年10月17日より、愛知県内で同様の制度を実施している18自治体間で連携を開始しました！この連携により、転居時に必要となる手続きが簡略化されています。

ホームページ



詳しくは  
ホームページへ！

## LGBTQフレンドリー企業登録大募集！



令和4年7月1日から制度を開始し、LGBTQに配慮した取組や支援を行っている企業として、現在7社が登録しています。LGBTQへの理解ある取組と支援の輪が水平展開され、互いに個性を尊重し誰もが自分らしく輝ける社会を実現するため、積極的なご登録お待ちしています！

ホームページ



詳しくは  
ホームページへ！